

JC News NO.512

2018年度スローガン『温故知新』 次世代へつなげる一歩



備後国府まつり開催

2018年度の備後国府まつりを7月21日22日と2日間に渡り開催しました。7月初旬の西日本豪雨により府中市でも多くの被害を受けました。その中で開催の是非について多くの声をいただきましたが、この備後国府まつりが府中市を盛り上げる一助となるよう尽力し、来場された方はもちろん、府中市内の方の力になるようにと開催しました。

今年の備後国府まつりは今あるまつりの内容に加えてもっと子ども達が参加し主役になれるものが必要だと考え『子どもが笑顔になれるまつり』をテーマに開催しました。21日のパレード・おどりカーニバルは商店街からお祭り広場前とコース変更をしまして常に人混みの中を進行し、大変盛り上がるものとなりました。そしてステージイベントと泡祭-AWA S A I-では多くの人、特に若者がステージに前につめかけて出演者と参加者が一体になりまつりを盛り上げていただきました。22日には『子どもタンスリレー』『水祭』と言う新たなイベントを開催しました。子どもタンスリレーは定員を超える募集があり、参加してくれた子ども達は真剣な表情で優勝を目指していました。参加者やその保護者からもこれからも続けて欲しいと声を頂き大変うれしく思っております。その横では水祭という水を使用したイベントを開催しました。酷暑の中でしたので多くの子ども達、家族連れの方に来ていただき、ずぶ濡れになりながらの素敵な笑顔はとても印象に残っています。

どのイベントも参加していただけた方の笑顔が見れ、本当にやってよかったと実感しております。企画、準備、当日と多くの方にご協力頂き無事この備後国府まつりが開催できたこと大変感謝しております。本当にありがとうございました。



まつり委員会 委員長 宇野崇能

ASPAC鹿児島大会



2018年5月24日(木)～27日(日)でASPAC鹿児島大会が開催されました。ASPACとはアジア太平洋地域会議の略称でアジア各国から多くの会員が集う国際会議です。

本年度はASPACが鹿児島の地にて開催され、府中青年会議所からも栗原理事長をはじめとする多くのメンバーが参加致しました。今回の鹿児島大会では総会、ジャパンナイトやナショナルナイトに参加し、多くの学びや出会いを得る機会となりました。また、鹿児島の歴史や文化に触れることができる貴重な機会になりました。

専務理事 福田竜也

西日本豪雨災害ボランティア支援



この度の西日本豪雨災害で府中市も甚大な被害を受け、7月12日からボランティアセンターが開設され、府中青年会議所も主に被災地でのボランティア活動を開始しました。現地に行ってみると想像以上の被害でこの度の豪雨災害の凄まじさをまざまざと感じさせられました。活動では他のボランティアの皆さんとも協力し、土砂の撤去、家財等の片づけ、ゴミの搬出等を行いました。作業は人力でしかできない作業ばかりで、毎日暑い日が続く中、過酷な作業が続きボランティアの重要性を痛感する日々でした。今後もいつ、どこで災害が起こるかは分かりません。この経験が無駄にせず今後につなげていく必要があると感じました。

現在、府中市内でのボランティア活動は終了しましたが、まだまだ復興には人手と時間を要することが予想される地域があります。今後も府中青年会議所は早期復興の一助となるよう活動を行って参ります。

専務理事 福田竜也

ブロックアカデミー



6月3日(日)広島県三次市の「横谷ふるさとセンター」にて広島ブロックアカデミーが開催され、府中青年会議所からは、栗原理事長をはじめとする11名が参加しました。

午前中はVMV (vision mission value) の講義を受け、新入会員、仮入会会員に向けたJCIの基本理念を学びました。午後からは、広島ブロックの12LOMのメンバーを13班に分けたチームによる大運動会が開催されました。各理事長と、新人会員、仮入会会員が一致団結して競技に挑む事でLOMを超えた絆が生まれたのではないかと思います。その後、各LOMの理事長からの話を聞いたりする事でJC活動への理解を深めることができたと思います。

広島ブロック協議会での横の繋がりや、一緒にセミナーを受講した同期の繋がりが出来たととても良い1日だったと思います。

未来の日本構築委員会委員 浅野裕子

6月担当例会



6月11日(月)自己育成総務委員会の担当例会では「リーダーに必要な品格とは」をテーマに、オフィスワインの小林由喜子先生、宮崎亜紀子先生の2名の講師をお招きして講義を行いました。

講義内容は品格ある人をイメージするグループワークから始まり、コミュニケーションの取り方として「聴く」大切さや、効果的な話し方である3点法・PREP法、日頃からの立ち振る舞い方として印象をよくするポイントなどの品格向上に繋がるとされる事を学んでいただきました。メンバーの皆様には熱心に聞いていただき、大切だと分かっても普段なかなか考える機会のなかった「品格」について再確認出来た良い機会になりました。

自己育成委員会 委員長 下岡育巳

新入会員紹介

・粟根健太(有限会社アクティブワークス)

府中JC活動を通して、地域の貢献や自分自身の成長に繋がればと思います。今後のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

・小川貴広(株式会社オガワエコノス)

私は府中市で育ち、市域とともに学びいろいろな事を経験させていただきました。故郷に戻ってきて、入会のお誘いを頂き大変感謝しております。JCの活動を通して、地域に貢献できるよう、学び成長させていただきたいと思っています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

・貝原祥之(カイハラ株式会社)

2018年1月から仮入会させて頂き、早8カ月が過ぎました。未熟者ではありますが、これからも何か役立ちたいと思いますので、よろしくお願い致します。

・唐川真明(唐川木材工業株式会社)

私は小学校を卒業するまで、府中市で育ちました。その後、府中市を離れましたが、3年前に、久しぶりに故郷に戻ってまいりました。青年会議所の活動を通じて、府中市がより明るい豊かな町になりますように、未熟者ではございますが、精一杯頑張ります。皆様、よろしくお願い致します。

・小林任(相互工芸株式会社)

10年以上、小学生にサッカーを教えています。子供の元気の良さは以前から変わりません。次の世代を担う子供のため、府中市の発展にJC活動を通じて、少しでも協力できればと考えています。短い活動期間になりますが、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

・立花峻平(立花工業)

私はJCの活動を通して、地域に少しでも貢献できればと考えております。そして、自分自身の成長にもつながればと考えております。

最初にご迷惑をおかけする事もあると思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

SNS事業

～親子で学ぼう！スマートフォン・SNSとの上手なつきあい方～

6月24日(日)府中市生涯学習センターTAMスクエアにて小学4年生～中学1年生を対象としたSNS事業を行いました。

適切なコミュニケーション方法を考えてもらう方法として、カードゲームと実際にタブレットを使用し、対比した事を考えてもらう事で「人それぞれ、捉え方の違いがあるから気を付けよう」という事を伝えました。最後には「友達と大切な事を話す時にはなるべく、直接話すようにする」と言ってくれた子どもがいました。少しでも子ども達の意識の変化に繋がったのではないかと思います。

保護者の方には、広島県警の講演により、実際に子ども達に降りかかった犯罪事例、スマートフォン使用上の家庭でのルール作り、例えばスマホを使う為の「18の約束」を紹介され、子どもに使わせないのではなく、上手く付き合っていく方法を学んでいただく場が持てました。また、講演終了後も、保護者の方が県警の方に質問をしている場面を見うけたので、子どもを守る方法や対策できる事を学んでいただけたと考えます。



参加した児童や、保護者の方にとっては、いい内容だったと声をかけていただきました。今回、事業チラシを学校に配布する際に、学校側より学校の授業でやって欲しい、PTAでやってほしいなどと、学校側から要望がありました。学校や教育委員会やPTAに相談し、来年度、出前事業で行える事ができれば、より多くの子ども達や保護者に伝える事ができると考えます。参加いただいた児童の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

未来への懸け橋委員会 委員長 溝上法光

ビブリオバトル



7月担当例会では、おすすめ本のプレゼンバトルを行いました。(通称:ビブリオバトル)
これは、会員の相互理解とプレゼンスキルの向上を目的といたしました。

当日は、全員がそれぞれのおすすめ本を紹介し、府中JC—NO1を決定いたしました。
2分という短いプレゼンの中で、その本の概要やなぜ選んだのかという選定理由、ひいては、その本が人生の岐路で与えてくれた影響緒それぞれ話していただきました。

その中でも、新入会員の唐川さんが紹介した、「世界を動かす地域産業の底力」という本が、全会員の投票をもって読みたい本に選ばれました。優勝した唐川君には、理事長からありがたい言葉としてご講評をいただくとともに、表彰状が手渡され、大団円の内に事業が終わりました。

また、全体への所感として理事長より、全員がすばらしい事前準備をしてしっかりとしたプレゼンテーションをし、そしてどの本も思いがあり、是非読んでみたいとの言葉をいただきました。

会員拡大委員会 委員長 真邊崇正

8月担当例会

8月6日商工会議所にて「府中市と府中青年会議所のこれから」と題して小野市長をお招きして、8月担当例会を開催いたしました。小野市長から施政方針や、府中青年会議所に今後期待する事などを講演いただきました。その後、現役会員の平康太朗君から「人口減少に対する対応」、真邊崇正君から「コンパクトシティについて」、伊豆田浩央君から「災害対応とJCとの協力関係」について活発な意見交換が行われました。小野市長に参加していただき行政を身近に感じる事もでき、これからの将来に期待をもてる夜となりました。

社会開発委員会 委員長 門田和也



ブラモンデン

今回のお店『とんき』

府中市鶴飼町527-4

昭和59年古業監督率いる広島東洋カープは広島市民球場の地で3度目の日本一に輝いた。その34年前から鶴飼駅第一等地で豚カツを中心に食事処をされてきた「とんき」が今回のお店。

1人で外食する事は殆どない私が1人でお店に入ったのは平日の20時前。店内はカウンター席に数名のお客さんと、2つあるお座敷席も家族で埋まっており、私はカウンターの端に座る事にした。お座敷のお客さんから「今日のカープはどうなったんかねえ？」と声をかけられて、料理の手を止めて「さっきまでは勝ち

よーたけどなあ。」とニコニコとチャネルを変える大将の姿は、何とも言えない温かな雰囲気。

「とんき」は府中だけでなく、新市・福山・松永からの常連さんも多く、料理に関してはここで私が拙い説明をするよりも皆さんご自身で確認される方がよろしいかと。

私が食べ終えた頃には他のお客さんは帰り私1人になっていたのだが、大将と奥様は仕事の手を休め色々話を聞かせてくれた。昔の府中は景気が良く、食事だけでなく夜になると宴の席ばかりだった事、数年前にテレビで紹介されテレビの影響に驚かされた事、狂牛病や鳥インフルエンザで苦労した事など「34年も仕事していれば色々な事があるもんよ。」と。

開店前の仕込みの時間が趣味の時間のように何よりも楽しいとおっしゃる



一概な大将(奥さん談)のつくる豚カツに願を懸け、ビール片手に34年ぶりの日本一

に向けカープ戦を観戦するには最高のお店でした！家族と、友人と、1人でもぜひ！！

社会開発委員会 委員長 門田和也

編集後記

皆様のご協力によりJC News 512号を発行できました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

JC News No.512 (2018.9.7発行)
一般社団法人府中青年会議所
〒726-003 府中市元町 445-1
府中商工会議所 2F
Tel:0847-45-2648
Fax:0847-45-2984
Mail:fuchujc@fuchu.or.jp